

9 月定例会一般質問要旨（発言順）

松森 幸一議員

質 問 事 項	1 通学路の安全確保 2 「いじめ」問題 3 学校図書・読書活動
具体的な内容	1 通学路の緊急合同点検の結果と危険箇所への対応について 2 市内小中学校における「いじめ」の現状認識と対応について 3 学校図書館の蔵書の学校別充足状況と入学時のセカンドブックプレゼント事業の提案について
答 弁 要 旨	1 32 か所の緊急合同点検を実施し、改善可能な箇所については道路管理者等への改善をお願いしている。横断歩道、歩道改良等については関係機関へ改善を要望していく。今回できなかった危険箇所点検については、例年の「通学路安全点検」で対応していきたい。 2 23 年度の認知件数は 41 件、24 年度 8 月末で 33 件の報告。早期発見、早期相談及び関係機関との連携が大切であり、学校ごとにマニュアルを作るなどの対応をしている。教育委員会でもスクールカウンセラーの派遣、不登校対策推進チームでの検討を行っているが、今後も関係者の連携を図り未然防止や適切な対応をとっていきたい。 3 23 年度平均で 111.3%であるが、100%に満たない学校もあるため、各校の状況を見た中で予算配分等を行っていききたい。セカンドブックプレゼント事業はブックスタート事業の充実を図る中で、他の実施市町村を参考に研究していきたい。

松尾 宏議員

質 問 事 項	1 市長の政治姿勢
具体的な内容	1 学校と保護者間の連携と協働について
答 弁 要 旨	1 いじめや不登校が問題となっている中で、未然防止や対策のためには学校だけでなく、PTA 等保護者並びに地域との連携が大切と考えている。地域が子どもたちを育てるという考えに基づき、それぞれの立場で一体感を持って取り組むことが必要。

内川 集雄議員

質 問 事 項	1 安全性の低い道路(通学路)と交通安全等について
具体的な内容	1 6 月議会質問後の経過等について(都市建設部長答弁) 2 通学路合同点検の実施結果と対応について
答 弁 要 旨	1 安全施設整備の要望把握に努め、都市建設部及び教育委員会で連携して改善を進めていきたい。

	2 32 か所の緊急合同点検を実施し、改善可能な箇所については道路管理者等への改善をお願いしている。横断歩道、歩道改良等については児童生徒の安全を第一と捉え、関係機関へ改善要望していくとともに、地元及び地権者等に協力を求めている。
--	---

猪狩 久美子議員

質 問 事 項	1 いじめ・不登校問題について
具体的な内容	1 いじめ・不登校の実態と今後の未然防止対策について
答 弁 要 旨	1 これまでの取り組みによって減少傾向がみられ、対策の成果が表れてきている。早期発見、早期相談が大切であり、学校では相談窓口の設置、特別支援コーディネーターの配置、悩みアンケートの実施等を行っている。不登校対策推進チームの巡回指導も効果をあげているが、関係者の連携、保護者の共通理解、地域連携の強化が未然防止や解決の有効手段になると考えている。

藤原 陽子議員

質 問 事 項	1 こどもたちのがん教育を
具体的な内容	1 専門の講師による、がんに関する正しい知識を 2 恒常的な授業におけるがんの予防啓発を
答 弁 要 旨	1 子どもたちの心身の健康保持・増進を目指し保健・健康教育に取り組んでいる。機会をとらえて講演会の開催や生活習慣病防止の指導も行っている。国の「がん対策推進基本計画」の策定を受け、県の「がん対策推進計画」への施策反映等の動向を見た中で対応していきたい。 2 がんに特化した教育は実施していないが、命の大切さを教えるカリキュラムの一環としてとらえ、先進自治体の事例を参考に研究していきたい。

荻原 勝昭議員

質 問 事 項	1 アートによるまちづくりについて
具体的な内容	1 著名芸術家及び現在全国に情報を発信している芸術家を中心に捉えたまちづくりについての市長の考え方は 2 インター名称変更に伴う作品展の企画等の有無は
答 弁 要 旨	1 成功したまちづくりはリピート率が高い。安曇野らしさという市の魅力をさらに研究していきたい。(市長) 文化芸術と商業、観光との連携が文化振興計画に掲げられている。文化芸術は高い付加価値を生み出すことに鑑み、安曇野アートライン協議会等と連携して、美術館を生かしたまちづくりが展開できると考えている。

	2 名称変更に伴う首都圏からの誘客を図るイベントが、市内の美術館、博物館、交流センター等で各種計画されている。
--	---

山田 高久議員

質 問 事 項	1 国旗の掲揚について
具体的な内容	1 各家庭での祝日の「国旗」掲揚について
答 弁 要 旨	1 国旗掲揚については個人の思想に基づくものであり、統制できるものでないと考えている。また、国旗購入に係る補助金についても現在は考えていない。

濱 昭次議員

質 問 事 項	1 市長の行政手法と自己評価 2 市の施設及び外郭団体等の再任用(職員)についての基本的考え 3 庁議のあの方とその優位性、機動性
具体的な内容	1 教育委員会と学校先生と市長との位置関係(3者は十分協議して教育行政に当たっているのか) 2 公民館長に旧職員がついている。再任用では。 3 南部多目的グラウンドの具体的計画(特に取り付け道路)の検討経過について
答 弁 要 旨	1 教育委員会は学校長の考えを大切にし、市長部局の理解と協力を得て教育行政に当たっている。今後も懇談会や教育現場の声を聞く機会を大切にし、三者一体となって課題に取り組んでいきたい。 2 公募において特別の扱いはしていない。退職すれば一民間人であり、再任用ではないと考えている。(市長) 要綱に基づき、論文の提出、面接等厳正に選考をしている。 3 アクセス道路、水路、上下水道等整備について地元区と協議し進めている。

黒岩 宏成議員

質 問 事 項	1 学校教育について 2 学力向上について 3 遊びの環境を整える
具体的な内容	1 ① 学校別児童生徒数の状況と適切な学校配置 ② 児童生徒数の格差について 2 ① 全国学力テストの安曇野市の結果、課題と対応及び理科の内容、課題、対応について ② 「放課後学習室」について 3 教育環境づくり(教育力アップのための開かれた学校づくり) 4 子どもを対象としたスポーツ教室、講座等の現状と事業拡大の計

	画について
答 弁 要 旨	1 ① こどもは減少傾向にあるが、様々な要因により地域ごとに一律ではない。適正な学校配置や通学路の見直しは必要だが、現時点では踏み込んだ議論は困難である。状況を見ながら今後研究していきたい。 ② 小学校では全学年で 35 人学級、中学校では 1.2 年は 35 人学級、3 年のみ 40 人学級となっている。小学校における最大格差は 19 人、中学校では 11 人である。 2 ① 市の平均正答率は全国及び長野県の平均正答率を上回っていたが、知識はあるが活用ができないという課題がある。結果を前向きに受け止め、授業改善の方向性を学校とともに研究し学力向上に努めていきたい。 ② 学校支援本部事業として継続実施している。基礎学力を身につけさせることにより、学習意欲の向上や学校生活への不適應、不登校等への対応の一助となるよう努力している。今後は学校との連携をさらに強化し、より効果的な方法を検討していきたい。 3 親の教育力をアップさせるためには開かれた学校づくりが大切と考える。家庭学習の手引き等に基づき学校と家庭とが共通の方針で学力向上に努めている。今後もいっそう保護者との連携、地域との密着を重視した気養育活動を推進していきたい。 4 幼保・学校・家庭・地域が課題を共有し、スポーツのすそ野を広げる必要があると「スポーツ振興計画」に謳われている。市民の要求、指導者等の状況等の現状を把握した中で、対応していきたい。 講座等についても、より身近に受講できるよう内容等の充実を検討していきたい。